

-- 日本GAP協会 「農薬・肥料・資材」部会とは --

• 会員部会 参加企業

- 大信産業、日本農薬、豊田肥料、住友化学、バイエルクロップサイエンス、共栄火災
アイアグリ、日立協和エンジニアリング、新日本検定協会、住化分析センター、三菱化学テ
クノリサーチ
- 部会長:アイアグリの玉造和男社長

• 「農薬・肥料・資材部会」の役割・位置付け

- 農薬、肥料、その他の農業資材に関係した会員を中心に組織する。
- それらの技術的な審議や啓もう活動を行うほか、技術委員会へのJGAP 基準改定の提言や、
農業現場へのJGAP 指導手法の開発・発展を目標とする。
- 消費者に対しても、JGAPを活用した農薬・肥料・資材に関する啓もう活動を計画する。



農薬・肥料・資材部会 活動実績と予定

- 2012年7月25日
第一回会合@日本GAP協会
- 2012年秋以降
 - ・認証農場・JGAP指導員向け「農薬・肥料・資材に関する勉強会」を開催
 - ・IPM実践道場を運営
 - ・保管注意資材のリストアップ
 - ・JGAP標準帳票(日々の営農管理用)の策定
 - ・第二回部会会合の開催

-- 活動の企画 --

- **農薬・肥料・資材に関する指導・啓蒙活動として**
 - 農薬、肥料、資材に関する講演会
正しい農薬、肥料、資材の選び方、使い方に関して指導員、認証農場向けの講演あるいは講習会
 - IPM実践道場
モデル農場を募り、会員企業がIPMの指導を行い、導入ノウハウを認証農場やJGAP指導員などに情報共有
- **農薬・肥料・資材に関するJGAP基準改定の提言**
 - 保管に注意を要する資材のリスト化
硝酸アンモニウムなどの保管に注意を要する資材をリストアップし低コストで適切な保管ができる方法を提案する。
 - JGAP標準帳票(日々の営農管理用)の策定
JGAPで求める項目を満たし、分かりやすく記帳しやすい書式を検討・提案する。

農薬、肥料、資材に関する講演会

- 目的:正しい農薬・肥料・資材の選び方・使い方に関して指導員、農場向けの講演あるいは講習会を開催し、指導員のレベルアップを図る。
- 講演テーマ案 :ドリフト対策資材の選び方、農薬散布機器の片付け方法、微生物資材の最新情報、農薬保管のよい例・悪い例、土壌診断の項目選びと施肥設計、肥料等の安全性確認方法、肥料保管のよい例・悪い例、地球温暖化防止のための肥料の選び方使い方
- スケジュール案:
 - 10月 会員・指導員からテーマを募集、講師の選定
 - 11月～12月 第1回の講演会 実施
 - 12月 講演会の内容をyoutube、技術レター等で紹介

IPM実践道場

- 目的: モデル農場を募り、会員企業がIPMの指導を行い、指導状況を会報等で公表する。正しい農薬の使い方、片付け方についても指導を行う。農薬も正しく使えば問題が起こることはまずなく、適切な農薬の使用は省力化や収入の極大化に役立つということを伝えていく。
- 内容: 果菜類の生産者に対して指導を行い、対照区を設置し、その効果を確認する。指導期間は半年以上もうける。
- スケジュール:
 - 10月 農場募集(認証農場、認証取得指導中農場)
 - 11月 指導者募集、資材の推薦、指導内容の打ち合わせ
 - 12月～6月頃 農場での実地指導(月に1回程度)
 - 7月 結果報告会

保管に注意を要する資材のリスト化

- 目的:硝酸アンモニウムなどの保管に注意を要する資材をリストアップし低コストで適切な保管ができる方法を提案する。
- 内容:毒劇物、危険物の対象物のリスト化、保管方法の提案。
- スケジュール:
 - 10月 資材関係の会員企業に聞き取り調査。(このような資材を取り扱っているか。取り扱っている場合、農家にどのような注意を促しているのか。)
 - 11月 メーカー等への聞き取り調査1月 結果集計、発表

JGAP標準帳票(日々の営農管理用) の策定

- 目的: JGAPで求める項目を満たし、分かりやすく記帳しやすい書式を検討・提案する。JGAP穀物2012では農薬使用計画と農薬使用記録の連携をより明確に打ち出している。計画書式と記録書式を組み合わせ合わせて検討し、より効率的な文書管理のあり方を考える。
- スケジュール:
 - 10月 農場・指導員から帳票の例を募集
 - 11月 原案作り(基本となる計画書式と記録書式を検討、その後、露地青果物、水耕栽培、果樹、穀物、茶などいくつかパターン検討)
 - 12月～1月 部会で討論、会員から意見を募る
 - 2月 標準帳票の発表